

-山口型放牧マニュアル-

山口型放牧を

やってみませんか？



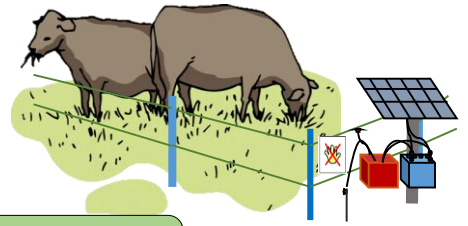
令和3年8月  
山口県畜産振興課

# 目次

山口型放牧とは	P. 1
山口型放牧の基本的な流れ	P. 2
放牧牛の確保	P. 3
(1) 放牧馴致	
(2) 家畜運搬車への積込み調教	
(3) 放牧に適した牛の選定	
(4) レンタカウ制度	
放牧の準備	P. 5
(1) 放牧に取り組む前に	
(2) 放牧に必要な資材	
放牧中の管理	P. 6
その他	P. 6
(1) 保険	
(2) 放牧牛の病気対策	
(3) 技術サポート(問合せ先)	
○チェックリスト	

# 1 山口型放牧とは

繁殖用の雌の和牛を電気牧柵で囲んだ水田や耕作放棄地に放牧することをいいます。



## (1) 耕作放棄地の解消

Before  
放牧前

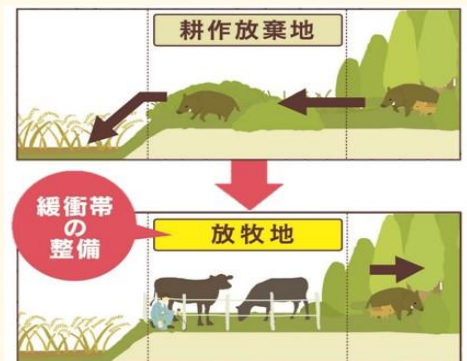


After  
放牧後



## (2) 緩衝帯の整備

イノシシの隠れ場所になっている耕作放棄地に放牧をすることで、イノシシの居場所がなくなり、水田に入って来づらくなります。



## (3) 省力・低コスト

### ○牛の所有者

- ・放牧中はエサ代がかからず、エサやりなどの手間も省けます

### ○放牧の実施者

- ・電気牧柵はソーラーパネルで電力不要、簡単に設置・撤去可能
- ・草刈りは最小限
- ・放牧牛はレンタルもできます
- ・牛はエサやり不要で、牛の詳しい知識がなくても取り組めます

## 2 山口型放牧の基本的な流れ

### 準備

- 電気牧柵設置場所の草刈り
  - 電気牧柵、飲水施設を設置
  - 注意看板を設置
- ※感電事故防止のため、注意看板は必ず設置します。



### 開始

- 牛に殺ダニ剤を塗布
- 放牧地に牛を放す(2頭1組)



### 放牧中

- 放牧牛の観察
- 電気牧柵の管理  
(漏電・断線等がないか確認)



### 終了

- 牛が草を食べ尽したら終了
- 牛を捕まえて連れて帰る
- 電気牧柵を撤去



## 3 放牧牛の確保

### (1) 放牧馴致

初めて放牧する牛は、事前に外の環境や電気牧柵に慣れさせることが必要です。(放牧馴致)

鋼管パイプなどで作った物理的な柵の中に電気牧柵を張って放牧し、電気牧柵を覚えさせます。



### (2) 家畜運搬車への積込み調教

牛が、放牧地への移動に使う家畜運搬車に乗るのを嫌がる場合、以下の手順を何度か繰り返して調教できます。

- ① 運搬車に慣れている牛と慣れていない牛を運搬車の内部が見える位置でしばらくブラシ掛けする。
- ② 慣れている牛を先に乗せ、次に慣れていない牛を乗せる。
- ③ 運搬車内で配合飼料等を使って餌付けする。



参考：「放牧牛確保のための誘導・捕獲技術の開発」(農林総合技術センター畜産技術部)

### (3) 放牧に適した牛の選定

山口型放牧に用いるのは主に繁殖用の雌牛ですが、気性が荒かったり、放牧地での捕獲・誘導が困難な牛は放牧には向きません。

作業時間の短縮や怪我・事故の防止のためにも、放牧に適した牛を選ぶことが大切です。



(次ページに続く)

### 3 放牧牛の確保

#### (3) 放牧に適した牛の選定（続き）

下のチェック表を用いて、放牧牛としての適性を確認してください。①～③の各項目が「適度」となる牛が望ましいですが、「やや難しい」でも調教次第では改善が見込めます。「とても難しい」が付く牛は放牧には適さないので選ばないようにしましょう。

	難易度	判断基準
① ロープ誘導※	<input type="checkbox"/> 適度	ロープ誘導ができる スタンションで捕獲できる
	<input type="checkbox"/> やや難しい	ロープ誘導が難しい スタンションで捕獲できる
	<input type="checkbox"/> とても難しい	ロープ誘導がとても難しい スタンションで捕獲できない
② 家畜運搬車への積込み	<input type="checkbox"/> 適度	積込みが比較的容易にできる
	<input type="checkbox"/> やや難しい	積込みが難しい
	<input type="checkbox"/> とても難しい	積込みとても難しい・できない
③ 放牧地の捕獲	<input type="checkbox"/> 適度	捕獲が比較的容易にできる
	<input type="checkbox"/> やや難しい	捕獲が難しい
	<input type="checkbox"/> とても難しい	捕獲がとても難しい・できない

※ロープ誘導…鼻環をつけ、頭絡(むくち)を使用したロープ誘導

参考：「放牧牛確保のための誘導・捕獲技術の開発」（農林総合技術センター畜産技術部）

#### (4) レンタカウ制度

牛を飼っていない場合、地域の畜産農家などから放牧牛を借りる制度(レンタカウ制度)が利用できます。

運搬費等の貸し付け条件が合えば、レンタカウとして登録されている牛を借りることができます。

レンタカウの登録リストは、公益社団法人山口県畜産振興協会のホームページに公開されています。

レンタカウ制度を利用したい方は、最寄りの農林(水産)事務所畜産部にご相談ください。



## 4 放牧の準備

### (1) 放牧に取り組む前に

放牧を始める前には、必ず周辺住民の了解を得てください。

必要な場合は、農林(水産)事務所畜産部や農林総合技術センター畜産技術部(畜産試験場)からも説明を行います。

また、**万が一の際の連絡先が分かるように表示しておくことが望ましいです。**



### (2) 放牧に必要な資材

#### □ 電気牧柵セット

電牧器 (バッテリー含む)  
電牧線、ポール、クリップ  
アース、注意看板、検電器 等



#### □ 飲水施設

水路や湧き水がきれいな場合は利用できます。ない場合は貯水タンクや水槽が必要です。牛は、夏場に1日最大45リットルの水を飲みます。



#### □ 日よけ

日陰のない場合は、寒冷紗等を使い、牛が日よけする場所を作ってください。



#### □ 殺ダニ剤

月1回、牛に塗布してください。

#### □ 捕獲用資材

放牧終了時に使用します。

エサを使って呼び寄せて、ロープやフックで捕獲する方法もありますが、移動式スタンションを使うとより簡単に捕獲できます。



## 5 放牧中の管理

放牧中は毎日、以下のことを確認してください。

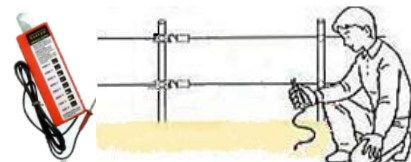
### 電気牧柵の電圧

検電器を使って、4,000ボルト以上あることを確認してください。

### 飲み水の量

### 残りの草の量

人が近づくと牛が駆け寄ってきたり、痩せてきていたら草が足りない可能性があります。



### 牛の様子

いつもと違うところはないか確認してください

### 殺ダニ剤

前回塗布から1か月以上経過している場合は再塗布してください。

## 6 その他

### (1) 保険

万が一、牛や人の事故があったときのために、JAや共済組合、民間等の保険に加入することができます。

### 人の事故に対する保険

草刈作業時等のケガ、放牧牛による対人・対物事故を補償します。

例) JA 農家包括特約付個人賠償  
損保ジャパン 施設賠償責任保険  
共栄火災 農業者賠償責任保険



### 牛の事故に対する保険

放牧中の牛のケガ等は、家畜共済が適用されます。家畜共済は、畜産農家が加入しています。





## (2) 放牧牛の病気対策

牛が放牧中に、病気になる場合もあります。

放牧地にまだ草があるのに痩せてきた牛は病気の可能性があります。

毎日、放牧牛の観察をするように心がけましょう。

検査や薬剤の使用等については、最寄りの農林(水産)事務所畜産部や家畜診療所に相談してください。

### □ ピロプラズマ症

ダニが媒介する寄生虫による病気。

殺ダニ剤を定期的に(月1回)牛に塗布することで予防しましょう。

### □ 肝蛭症(かんでつしょう)

寄生虫による病気。検査や駆虫で予防しましょう。

## (3) 技術サポート(問い合わせ先)

山口型放牧やレンタカウ制度については、下記の連絡先までお問い合わせください。

また放牧中、終了の目安や牛の状態等が不安な場合も、最寄りの農林(水産)事務所等に問い合わせてください。

問い合わせ先	電話番号
柳井農林水産事務所畜産部(東部家畜保健衛生所)	0820-22-2416
山口農林水産事務所畜産部(中部家畜保健衛生所)	083-989-2517
下関農林事務所畜産部(西部家畜保健衛生所)	083-766-1018
長門農林水産事務所畜産部	0837-37-5606
萩農林水産事務所畜産部(北部家畜保健衛生所)	0838-22-5677
農林総合技術センター畜産技術部(畜産試験場)	0837-52-0258
山口県農林水産部畜産振興課	083-933-3434

## 山口型放牧を安全に行うためのチェックリスト

放牧管理者名

牛の所有者名

## 1) 地元

- 放牧を行うことに、地元住民の理解は得ていますか？

## 2) 牛

- 放牧、電気牧柵に十分慣れた放牧牛ですか？

## 3) 放牧地

- 草の量は十分ありますか？
- 放牧地内に大きな水溜りや湿地がありませんか？
- 放牧地から牛が転落しそうな崖はありませんか？
- 放牧地内に陥没したところや大きな穴はありませんか？  
(崖や穴がある場合は、電気牧柵の張り方を工夫しましょう)

## 4) 電気牧柵

- 電気牧柵の電源を入れましたか？
- 電牧線に草等が引っかかかっていませんか？
- 電圧は4,000ボルト以上ありますか？
- 注意看板を取り付けていますか？
- 緊急時の連絡先は表示されていますか？

## 5) 飲水施設

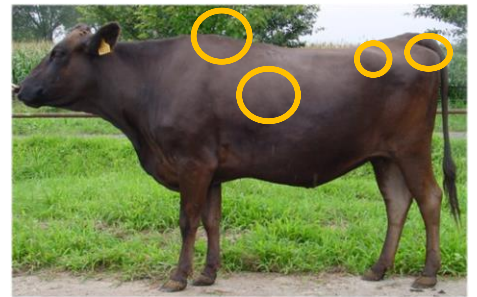
- 飲水施設（水槽等）を設置しましたか？
- 飲水施設から水漏れしていませんか？

## 山口型放牧を安全に行うためのチェックリスト

放牧管理者名 \_\_\_\_\_

## 1) 牛

- 放牧した頭数が放牧地にいますか？
- 草を食べたり、歩いたりしていますか？
- 反すうをしていますか？
- 歩き方はおかしくないですか？
- フンの固さはどうですか？
- 痩せてきていませんか？



○で囲んだ所の骨が目立ってきたら  
要注意！

## 2) 草・水

- 放牧地に草が残っていますか？
- ※牛がすぐに人に寄ってくるなら、草が足りないのかもしれませんが。
- 牛が飲む十分な水がありますか？

## 3) 電気牧柵

- 電気牧柵の電源が入っていますか？
- 電圧は4,000ボルト以上ありますか？
- 電牧線の弛みはありませんか？  
草が当たっていませんか？
- 注意看板は見やすいですか？
- 緊急時の連絡先は表示されていますか？